

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



マーケティング Week 春 2025

消費者の行動、嗜好を分析した上での企業 PR

東京ビックサイトで開かれた「マーケティング Week 春 2025」を見学、耳慣れない CX やデータインサイトなど学びました。AI 検索すると、インサイトデータとは、消費者の行動や嗜好、ニーズ、課題などを分析した結果から得られる情報です。マーケティングやビジネスの意思決定に役立ちます。とあり、CX は、CX (カスタマーエクスペリエンス) とは、顧客が商品やサービスを利用する際の体験や価値、メリットを指す言葉です。マーケティング部門でよく使われる言葉で、顧客とのタッチポイント全体を通して顧客満足度を高めることを目的としています。ビジネス界ではよく使われる用語で、経験と勘の世界から、データ化とその情報処理の世界に替わったのでしょう。



動画作成を支援する企業の出展が目立っていました。その中では、ユーチューブより、TikTok の運用代行を多くが PR していました。自分では、ユーチューブ動画はやっていますが、TikTok はやっていません。広告ツールとしては、TikTok の方がはるかに漫画動画を PR していた「SKYTOP」は料金設定までチラシに入れており、消費者側に目安になっていました。さらに、動画をパラパラ漫画で表現するものがありました。「アトム ストーリー」(ATOM STORY) というブランドでしたが、好感度を満たすにはこのパラパラ漫画の受けは高いのでしょう。

「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める決議が圧倒的多数で可決した状況

写真は都議会 HP の物を転載したものです



町田市議会の第 1 回定例会に出された「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める決議が圧倒的多数で可決しました。提出者は共産党であり、特定会派が提起した政治的な問題でこれほど明快な賛成判断が示されるのは極めてまれな事例でした。言うまでもなく、この裏金問題というのは、自民党の派閥が政治資金パーティーを行った際、所属議員に割り当てたパーティー券販売ノルマ以上に売り上げた場合、その売り上げを計上せず、それぞれの議員に還元し、双方がその金額を収支報告書に記載しなかったというものでした。

都議会自民党も、国会の自民党派閥のやり方をまね、パーティー券売り上げの中抜きして、全く税金もかからない、使途も明らかにできない、しないというものでした。自民党所属の東京都議会議員が関わった固有の問題なのでしょう。この議員提出議案には、市議会の自民党所属議員(自民党会派議員と諸派議員、自民系会派議員)のみが反対しました。国会や都議会でも自民党と同調する政党も含めて無所属議員も押しなべて賛成しました。私が属する無所属会派も全員賛成しました。

*町田市議会は、個々の議案で賛否が異なる例がある

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員 3 名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第
55期生が終了しました。

インターン体験記⑨森田 瑛斗

骨髄バンク体験者と面談&献血ルーム訪問

骨髄ドナー経験者である藤田学議員にお話を伺うことが出来ました。骨髄ドナーに選ばれ、入院するまでの流れを説明していただきました。骨髄ドナーに対する企業や社会の理解も以前より進んできており、ドナーの休暇取得なども認められやすくなっているとのことでした。一方骨髄ドナーは現在55万人ほどですが、今後10年間で40%(22万人)の減少が見込まれています。ドナー登録ができるのは18歳~54歳に限られており、白血病をはじめとする血液疾患を有する患者のためにも、若年層のドナー登録が欠かせません。

その後、まちだ献血ルームcomfyに伺い、所長から献血の現状についての説明と、献血ルームの案内をしていただきました。現在献血者のうち50歳以上が42.6%、30~49歳が39.2%、16~29歳が18.2%となっており、特に20、30代の献血者数が減少傾向にあります(人口が少ないというのもあると思います)。一方輸血が一番用いられているのががん治療(35.1%)であり、高齢化に伴いさらに需要が高まっていくことが考えられます。人工血液の実用化もまだなされていないなかで、安定した血液供給を維持していくためには国民一人一人の理解と協力が欠かせません。実際に献血ルームに行ったことのない方も多くいらっしゃると思いますが、分からないことがあってもスタッフの方が丁寧に説明してくれますし、中には医師も常駐しています。400mL献血の場合、男性は17歳、女性は18歳から、200mL献血は男女とも16歳からでき、成分献血は男女とも18歳から出来ます。年齢が達したら記念に一度行ってみるのもいいかもしれません。是非気軽に一度献血ルームを訪れて頂けると、より世界が広がると思います。



インターン体験記⑩森田 瑛斗

町田市議会の議員一般質問を聞いて



町田市議会の一般質問を傍聴しました。一般質問では各議員持ち時間として1時間が与えられ、自由なテーマで質問をする機会を与えられます。

議員ごとにテーマはバラバラで、好きなテーマで質問をしているのが印象的でした。その中でも特に子育てに関する質問は多く、教科書や給食、修学旅行、いじめや虐待など多岐にわたるテーマが取り扱われており、注目度の高さがうかがえます。また市役所側の回答の仕方も興味深いものがありました。自分ならこの質問には答えが浮かばないと思うような厳しい追及に対しても、うまい言い回しでかわしていくのです。それを逃すまいとする議員とひらりとかわす役所側の攻防は初めて議会を傍聴するものとしては非常に見応えがありました。また、町田市は新しいことを積極的に行っていくというよりも他の市区町村や都、国など全体の流れを見ながら新しいことを導入していく姿勢を取っているのだというのを議論の中で感じました。

一方、全国を見渡せば電子投票の導入など新しいことを始める市区町村は必ずあるわけで、そういった市区町村はどういった流れで新しいものを始めていくのか非常に気になりました。役所の風土的なものなのか、首長の一声なのか、はたまた議員たちの働きかけによるものなのか、興味が尽きません。

東京大学医学部新卒 森田瑛斗(第55期生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年3月末までに111名が参加しました。

◎第55期インターン生の森田瑛斗さんは、医師国家試験に合格し、4月1日から研修医として社会人。

◎次回のインターンシップは、2025年夏季第56期生の募集を開始しました。